

# ルネサンス

中世の間に忘れられていたギリシャ・ローマの古典文化の復興を目指し、さらに人間の個性を重んじ、個々の能力を最大限に生かすよう努力する姿勢の事（イミダスより）

今流に置き換えると、「今日、忘れられている古き良い習慣や道徳を取り戻し、今後の教育の中で個性や知性を最大限に引き出す教育や問題解決に向けて努力する姿勢」です。

〒207-0033

東大和市芋窪5-1106-5

TEL 042-567-4332

FAX 042-566-3488

発行者

関野 たかなり

E-mail [sekino\\_takanari@hotmail.com](mailto:sekino_takanari@hotmail.com)URL [www.sekino-takanari.com](http://www.sekino-takanari.com)

## 民間経営感覚を取り入れた行政改革

民間の経営者は何時も、「どうすれば無駄がなく利益をあげられるか・どのようなサービスをすればお客様に喜んでもらえるか」と言ったように、お客様の立場に立って考え方行動しています。又お客様の立場になつても分からぬ時は、お客様から意見を聞いたり、アンケートをとったりして最良のサービスを出来るよう心がけているものです。行政（市役所）のありかたも同じようなものです。

例えば、市民サービスの向上、安全で安心していつまでも住み続けたいと思う「町」を作ることなどが必要ではないでしょうか。そうする為にはまず行政の体質が問題であります。過去の一時期とは若干変わってきてはいますが、まだ地方自治体の中にも政策立案能力や執行能力が不十分で、前例踏襲主義や縦割り行政などが依然として行われています。

（前例踏襲主義とは・・・以前に行った方法や考えをそのまま受け継ぐ事を言います。）

自治体の行政は中央集権のなかで国から地方に補助金の流れに任せた縦割り行政とも言われ、それが基本とも受け取れる為に、同じ目的の為に複数の組織で仕事しているにもかかわらず相互の連携や調整がはかりにくくサービスの受け手（市民）より事務執行の都合を優先させる事があります。この為に適格で迅速な行政対応が出来ない面は多く、市民が市役所に行って何かを相談しようとしても「それについては〇〇課に行って下さい」「その件についてはうちの課ですが、この件ですと別の課になります」などと、たらい回しにされる例も少なくありません。この様な体制ではなくサービスを受ける市民の立場で行政職務を行い変えて行く事が必要であり今後の課題となってきます。このような問題を回避する為にも、行政職員一人一人の意識改革や市民総合相談窓口などの設置が必要ではないでしょうか。例えば、松戸市で行っている「すぐやる課」などの様な市民サービスの向上など自治体のありかたを意識し市民との共同を認識して行動することが必要であり、また市民もそれに積極的に協力していくなくてはならないと考えます。さらに効率の良い行政の必要性については市長をはじめとし議会・行政職員が社会の流れを的確にとらえ認識し「市民の意見を取り入れた行政改革」を行うことが今後の行政改革に必要になってくるはずです。

### 民間経営感覚を取り入れた行政改革のマニフェスト

- 市民が今何を求め・何をして欲しいのかの調査（1年～2年）戸別訪問やホームページでの投稿など
- 行政職員への意識改革及び各職員一人一人からの「今後の行政のありかた」等の提案や無記名での投稿募集など（無記名にする理由として、行政職員の誰から出た意見か分かる様にすると新人職員や立案能力のある職員の意見が、上司の目が気になると言った理由で、良い提案が出てこない可能性がある為。この様な事が無ければ、記名での投稿も可能にする。）（6ヶ月～常時改革）
- 行政・議会などの決議提案など

## 個性を伸ばす教育の実現

これから21世紀を担う子供達が、心身ともに健康で時代を担っていく事は私達大人の責任の一環でもあります。しかし核家族化の中でややともすると家族基盤の弱体・都市化による自然の減少・連帯感の希薄による地域教育の低下、更にはマスメディア・ニュウメディアの発達など親や子供達を取り巻く環境の変化で、子育てをしている親・児童・青少年の育成に少なからず影響を与えていた事は言うまでもありません。そこで必要になってくるのは、家庭・学校・地域社会との機密な連携と同時に子育てをしている親同士の情報交換（交流）の場などが重要になってくると考えます。児童館・児童窓口・野外レクリエーション施設（自然とのふれあい）など子供達の遊び場・体験学習の場・子育て交流の場など、引き続きの整備計画が望まれます。このような環境を受け止め個性を伸ばす教育とは、まず青少年自身が文化やスポーツ活動などに参加できる機会の場を整え同時に活動基盤となる団体グループの育成と指導者を育成していくことが重要になります。更に青少年の社会性を培う為にゆとり教育で空き時間となった土曜日などに自然保護活動・リサイクル活動・ボランティア活動等と言った地域活動に積極的に参加できる場などの提供が必要ではないでしょうか。この様な、活動に参加することにより、自分自身で体験し考え行動する様になり、知恵を学び個性を発揮していく子供達が育つと考えています。

同時に子育てをしている親がストレスを溜めない為にも親同士の情報交換の場や子育てによる悩み相談の場の整備計画も必要と考えます。

### 個性を伸ばす教育の実現のマニフェスト

- 家庭・学校・地域社会（地域毎）での必要項目等の話し合い（6ヶ月～1年）
- 各関係部署との連携の構築（1年～2年）
- 活動基盤となる団体グループや農家などからの協力参加
- 他市町村での活動報告などの収集および立案

教育の事なので、これで良いと言える事はないので環境や状況によって変化させていく事が必要です。

### マニフェストとは・・・

政策の行動実施計画を示し、政策に対する自己決定と自己責任による自治体運営・自治実現の表現方法の一つです。

### 東大和市からJリーガー誕生

四中サッカー部OBで、都立国分寺高校3年生のゴールキーパー森田耕一郎さん（中央3丁目住）が、サッカーJ1リーグの「ベガルタ仙台」に入団しました。都立高校サッカー部出身としては初のJリーガーです。昨年はU-19（19歳以下の日本代表）候補に選ばれています。森田さんは、東大和サッカー少年団の出身。Jリーガーを目指す後輩たちの大きな目標となることでしょう。（東大和市報より）



発行者 関野たかなり

このレポートは、東大和全域に配布しています。  
本紙へのご感想・ご意見／地域に関する疑問・投稿など  
どしどしお寄せください。

E-mail : sekino\_takanari@hotmail.com

Tel 042-567-4332 Fax 042-566-3488

#### 関野たかなりプロフィール

昭和48年10月14日 東大和市生まれ 29歳 身長183cm 体重75kg  
都立北多摩高校卒業、衆議院議員のもとで政策を学び、1999年25歳で東大和市議会議員選挙に挑戦するが惜敗。

グループホームをしている母のもとで育ち、会社役員として働く。その他、障害者の在宅福祉の現場でボランティアをし、高齢者パソコン教室では責任者としてNPO事業協議会で活動中。

趣味・サッカー、野球、サーフィンなどスポーツ大好き人間